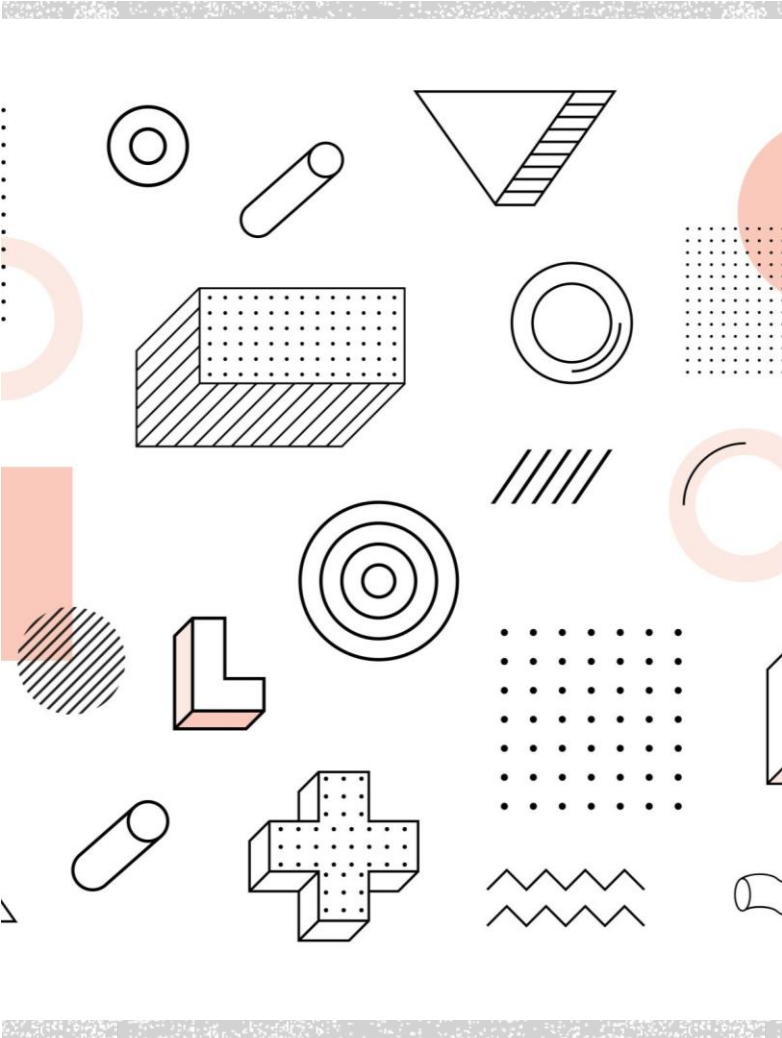
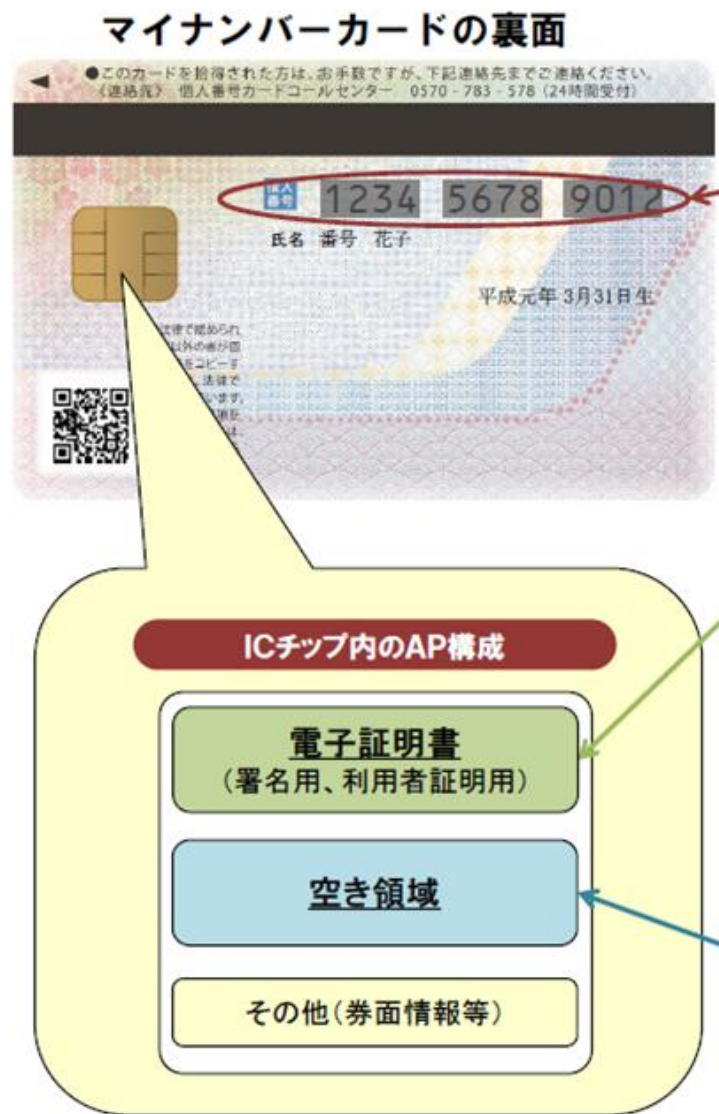




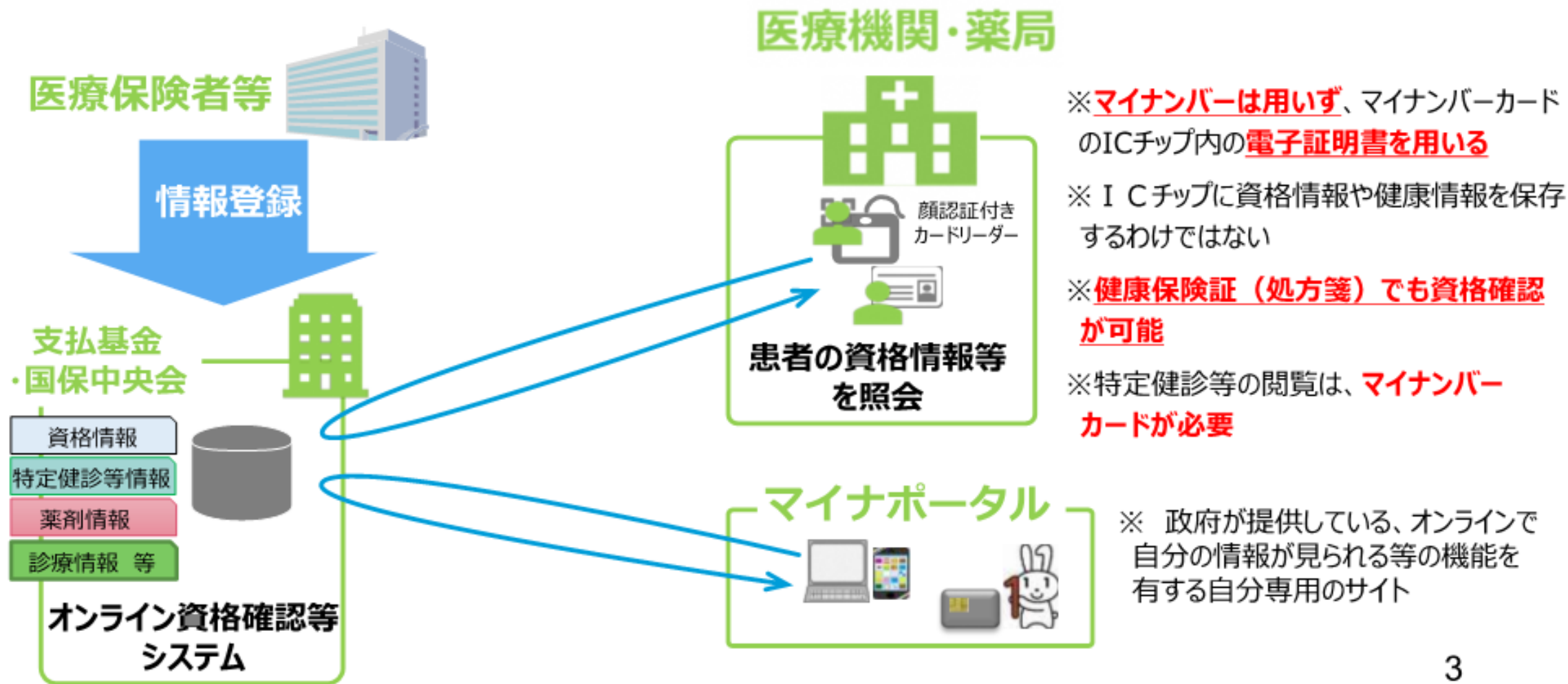
マイナ保険証 とは？

2024年8月22日 弁護士 出口かおり
(日弁連情報問題対策委員会事務局長)



マイナンバーカードを健康保険証として利用するとは？

- ◆ マイナンバーカードを取得するかどうかは任意。
- ◆ 裏面記載のマイナンバーは保険証には関係ない
- ◆ マイナンバーカード裏面のICチップ部分に保存されている「鍵」（＝電子証明書）で、本人であることを認証する。
- ◆ 健康保険証として使える状態にするためには、
 - ① 電子証明書機能付きのマイナンバーカードを取得して、
 - ② 健康保険証として使うための申込手续をする



3

医療機関で保険証として使うときは？

受付にあるカードリーダーにマイナ保険証を置く



顔認証か、4桁の暗証番号を入力して本人認証



同意事項の確認・選択



カードリーダーからカードを取り出す

＊ 受付の職員にカードを渡さない

12月2日以降も従来の保険証 が使える

- ◆ 12月2日以降、健康保険証の「新規発行」がなくなるだけ
- ◆ お手元の健康保険証は、保険証に書かれている有効期限が到来するまでの間、問題なく使える
- ◆ マイナ保険証の利用申込をしていない人には、12月2日以降、何も申請しなくても、「資格確認証」が届く
 - 資格確認証を医療機関で提示すれば、保険診療が受けられる
 - 資格確認証はいつまで送ってもらえる？

マイナンバーカードを持ってい ても・・・

- ① 電子証明書機能をつけていない場合
- ② 健康保険証としての利用申込をしていない場合
- ③ 電子証明書の有効期限を過ぎてしまった場合
は、健康保険証として使えない

・・・電子証明書の有効期限は5年
マイナンバーカード表面に書かれた有効期限とは別

マイナンバーカードが健康保険証として使えるかをどうやって確認する？

- ◆マイナポータルにログインして確認する
- ◆役所の窓口でカードを示して電子証明書の機能がっているかを確認してもらう
- ◆病院を受診したときに確認する

マイナ保険証でより良い医療が 受けられる？（１）

＜政府広報＞

医療情報の提供に同意すると、医師や薬剤師が過去に処方されたお薬や特定健診などの情報を見られるようになります。これにより、初めて受診する医療機関や薬局でも、総合的な診断が行われ、同じような薬や、飲み合わせのよくない薬を避けた、適切な処方を受けられます。

マイナ保険証でより良い医療が受けられる？（１）

- ◆直近３週間～１ヶ月の間に処方された薬の情報はわからない
- ◆病名や診療行為の内容等の情報もわからない
- ◆薬剤情報を提供する範囲を患者が選ぶことはできず、マイナンバーと紐付いているすべての薬剤情報を医療機関側で閲覧できるようになる
- ◆結局、お薬手帳を持参するのがベスト

マイナ保険証でより良い医療が受けられる？（２）

<政府広報>

「手続きなしで、高額医療の限度額を超える支払を免除」というのがあります。

窓口で支払う医療費が1か月の上限額を超えた場合、その超えた額を支給する高額療養費制度があり、上限額は、年齢や所得に応じて定められています。この制度を利用するためには事前に手続きが必要な上、手続きをしないと、一旦、高額な医療費をご自身で支払っていただかなければなりません。しかし、マイナ保険証を利用すると、手続きをしなくても、限度額を超える支払が免除されるんです。

→ 従来の健康保険証でも手続は簡単。限度額証をもらって医療機関に示すだけ

これまでの健康保険証は

- ◆有効期間が切れる前に、保険者から新しい健康保険証が交付されていた
- ◆医療機関に行ったときには、月1回、受付に保険証を渡すだけでよかった
- ◆健康保険証だけの機能で、紛失した場合のリスクも小さかった
- ◆マイナ保険証の場合と比べて、窓口の支払いが少し増える

マイナ保険証は

- ◆毎回、受付でカードリーダーにカードを置いて、顔認証又は4桁の暗証番号で認証をして、その都度、薬剤情報の提供の可否等を選択する必要がある
- ◆有効期間が5年間あるが、更新手続きは自分で行う必要がある
- ◆紛失した場合のリスクが大きい
- ◆再発行手続きのために本人が役所に出向く必要があり、再発行できるまでに時間もかかる

日弁連の意見

「マイナ保険証への原則一本化方針を撤回し、現行保険証の発行存続を求める意見書」

- ◆申請手続きをしないと取得できないマイナ保険証は、介護施設入居者などにとって手続が大変。カードとパスワードの管理も十分できるわけではない。
- ◆介護施設等は、健康保険証は預かってくれていたが、マイナ保険証は預かってくれないところが多い。
- ◆誰もが安全で質の高い医療にアクセスする権利が保障されるよう、現行のままの健康保険証を選択する権利を認めるべき